

## 第3回日本地域医療学会 学術集会プログラム(予定)

■日時: 令和6年11月30日(土)-12月1日(日)  
 ■会場: 富山県富山市「富山国際会議場」(富山県富山市大手町1番2号)

**「未来に羽ばたくサステナブルな地域医療  
 ~質の高い温かい医療で地域を包み込む~**

R6.9.24 現在版

■A会場「メインホール」3.4階

■B会場「多目的会議室」2階

時間	【第1日】 — 11月30日(土) —	
A会場 9:00~9:30 (30min)	○開会式 主催者挨拶 学会長挨拶 清水 幸裕 (南砺市民病院院長) 理事長挨拶 小野 剛 (日本地域医療学会理事長) 来賓祝辞 富山県知事 富山県厚生部長 富山県医師会長 南砺市長 南砺市政参与 (ご臨席)	
9:30~9:35	*舞台転換(5min)	
9:35~12:00 (115min) 発表時間 20min	A会場 ○シンポジウムⅠ ◇テーマ:「地域医療を支える医療人の 育成と役割と(総合診療医と特定看護師・NP)」 ◇座長 大原昌樹(日本地域医療学会副理事長)、村上礼子(自治医大) ☆ 総合診療医: 3学会共同での総合診療医育成構想の行方 演者① 日本プライマリケア連合学会新・家庭医療専門医:前野哲博(日本プライマリケア連合学会副理事長) 演者② 日本病院診療医学会病院総合診療専門医:齋田瑞恵(順天堂大学総合診療科) 演者③ 日本地域医療学会地域総合診療専門医:廣瀬英生(県北西部地域医療センター 国保白鳥病院) ☆ 看護師: ① 特定看護師 伊藤達也(南砺市民病院) ② NP 酒井博崇(藤田医科大学)	B会場 ○シンポジウムⅡ ◇君にもできる臨床研究 ー地域の病院で行える研究ー 座長: 四方哲(京都府立医科大学) 和足孝之(京都大学) 演者①青木拓也(東京慈恵会医科大学) 教室: 地域医療のエビデンスと臨床研究の必要性) 演者②和足孝之: 研究から地域を創生する(京都大学) 演者③荒幡昌久(南砺市民病院: 市中病院における臨床研究、利点・難点など) 演者④武島健人(富山大学: 大学病院における臨床研究、利点・難点など) ○教育セッション: 臨床研究の実践方法 学生・研修医参加型ワークショップ (要事前登録) ファシリテーター: 青木拓也、和足孝之、荒幡昌久、武島健人、アドバイザー: 四方哲
12:00~13:00	昼食	12:20~13:00 昼食
13:00~13:50 (50min)	教育講演Ⅰ 座長: 山本昌幸(久美愛厚生病院) 「地域医療と向き合って」 藤森勝也(厚生連あがの市民病院)	13:00~15:30 (150min) ○総合診療医 教育セッション ◇テーマ「身体所見から病態を極める」 座長: 松本謙太郎(大阪赤十字病院) 平島修(徳洲会奄美ブロック 総合診療研修センター) 和足孝之(京都大学 総合臨床教育・研修センター) 大浦誠(南砺市民病院) 伊藤恭平(南砺市民病院) 石井大太(聖マリアンナ大)
14:00~15:20 (80min)	○シンポジウムⅢ ◇テーマ:「医療とアート」 ◇講師: 村岡ケンイチ 南砺市民病院のアート作成プロジェクト	
15:30~17:00 (90min) 発表時間 15min	○シンポジウムⅣ ◇テーマ:「質の高い地域医療を目指して 地域にこそ必要な病診連携, DX, ICT, AI」 ◇座長: 中村伸一、小林大介(富山大学) ① 青木拓也 地域医療の質とは ② 診療所からみた病診連携(中村伸一) ③ 地域病院のDX HITO 病院(篠原直樹) ④ 地域医療のICT(小川太志: 南砺市民病院) OPTIM社との共同プロジェクト ⑤ 地域医療における医療 AI 活用の未来(上村博輝: 新潟大学)	15:40~17:00 (80min) 南砺マルモカンファレンス ◇司会: 松本謙太郎、大浦誠
17:00~18:30	一般演題:ポスター発表(ホワイエ)、口演発表(201号室) 座長: 峯村正実、北啓一郎、学生セッション (ポスターおよび口演)、優秀演題を選定し交流会で発表	
18:45~20:30	交流会(名刺交換会) ANAクラウンプラザホテル富山 3F 大宴会場 鳳	

■A会場「メインホール」3.4階

■B会場「多目的会議室」2階

【第2日】— 12月1日(日) —			
9:00～9:30 (30min)	○学会長講演 「地域医療を守るための病院づくり—南砺市民病院の挑戦—」 学会長：清水幸裕（南砺市民病院）		
9:40～10:40 (60min)	○特別講演 ◇テーマ：「能登半島地震における地域病院の活動について」 座長：野村英樹（金沢大学） ① 災害時の医療救援の実際について（30分） 病院からの報告 品川誠（市立輪島病院） 座長：野村英樹（金沢大学） ② 「能登北部における精神保健医療福祉の課題：能登半島地震から見えたこと」（30分） 北村 立（石川県立こころの病院）	9:35～11:05 (90 min)	○高校生の地域医療体験学習 ◇座長：江角悠太、荒幡昌久（南砺市民病院）、白石吉彦（島根大学）土井 毅（Touch the Future 代表） ◇アシスタント：学生代表
10:40～10:50	休憩（10分）	11:05～11:15	休憩（10min）
10:50～11:35 (45min)	○教育講演 II 「臨床倫理とは何を行うことなのか—事例から読み解く—」 座長：清水幸裕（南砺市民病院） ◇講師：稲葉一人（日本臨床倫理学会副理事長）	11:15～12:45 (90min)	○学生・研修医のためのセッション 座長：江角悠太、小川太志（南砺市民病院）、河合皓太（かみいち総合病院） 研修医代表、 ◇アシスタント：学生代表
11:40～12:25 (45min)	III 「直感で医療へ促す—行動経済学から見た認知バイアスの世界—」 ◇座長：栗山政人（南砺市民病院） ◇講師：竹林正樹（青森大学）		
12:25～13:30	昼食	12:45～13:30	昼食
13:30～15:00 (90min) 発表時間 20min	○シンポジウム V ◇テーマ「地域医療とウェルビーイング—患者の幸福を実現する—」 ◇座長：秋山美紀（慶応大学環境情報学部 教授） 清水幸裕（南砺市民病院） ① 県全体でウェルビーイングの実現を目指す 牧山貴英（富山県ウェルビーイング推進課） ② 主観的な幸福とは何か 前野マドカ（慶応大学大学院） ③ 幸福を目指すケアとは 安井絢子（関西大学） ④ 宗教の観点からの幸福 僧侶で医師 岡山容子（おかやま在宅クリニック）	13:30～15:00 (90min) 発表時間 15min	○シンポジウム VI ◇テーマ「地域医療の真髄を学ぶ—総合診療医の役割・臓器専門医との連携—」 ◇座長： 仲井培雄（芳珠記念病院、学会副理事長） 佐藤幸浩（かみいち総合病院） ① 地域における救急医療 ドクターカーによる地域救急 熊野義久（南砺市民病院） ② 地域における急性期医療 大森啓子（杉田玄白記念 公立小浜病院） ③ 地域における回復期医療（地域包括ケア病棟） 野瀬範久（野瀬病院） ④ 地域における慢性期医療 矢野 諭（学会副理事長） ⑤ 在宅医療 紅谷浩之（オレンジホームクリニック）
15:00～15:30 (30min)	○閉会式 学会長 閉会挨拶 2025 年度第 4 回学術集会開催地発表 第 4 回 学術集会 学会長挨拶 副理事長 総評		